

陶 邑 編 年

陶邑窯跡群は、現在の大阪府堺市、大阪狭山市、和泉市、岸和田市にかけて広がる一大須恵器生産地で、古墳時代から平安時代にわたって、失われてしまったものを含めると合計1000基ほどの窯が連綿と築かれました。1960年代から始まる泉北ニュータウン建設にともなって調査が行われ、出土した大量の須恵器の検討から、古墳時代須恵器の相対編年が構築されました。

各窯からみつかった須恵器の型式学的分析から、複数の研究者により、いくつかの「陶邑編年」が作られました。